

# 勝山市広報

(第35号)

昭和31年10月25日発行

福井県勝山市役所総務課



燃えない工夫



焼かない注意

## 総工費 三千四百萬円で

### 北部中学校いよく建設へ 近く第一号館に着手

よりよく教育効果をあげて、次代の日本そしてこの勝山市を担う有為の若人を育て上げるため、鹿谷、北郷、荒土三町統合中学の建設が心ある人々から熱心に叫ばれ、市としてもこれが実現に懸命に努力、こゝに地元関係者の協力を得て、いよ／＼北部中学校（収容生徒数約八百人）の建設に着手することになりました。

去る八月末、先づ校舎敷地約三千坪の整備にかゝり、これも完了、十月十七日入札した結果、大北建設の手で近く第一号館の建設にとりかゝります。

第一号館は普通教室にあてられ、建坪延約五百坪のものです。

このように市ではさきに四百六十万円で平泉寺中学を建て、更に近く小原分校を三百万円で新築するなど、いよいよ当市の学校施設は充実しつゝあります。

勝山盆地の北方にそびえたつ、白亜の殿堂々北部中学校の開校もさして遠くはないことでしょう。

(写真は敷地整備に大活躍のブルさん)



### (議会だより)

## 定例市議会開かる!!

### 市議会定数条例など二十四件を可決

さわやかな秋が訪れてきました。市民の皆さんには、何かとお忙しいことと、存じます。さて、きよりは、去る九月十三日から十四日の会期で開かれた定例市議会のもよみを、い／＼解説を繰り込んで申し上げてみたいと思います。

この議会は、地方自治法の一部改正に伴う条例の改正や委員の改選、新しい教育委員会法の委員の選任、それに今年の七月の災害復興、その他の理由による追加更正予算などが主な議題で、その件数は二十九件でした。そのうちの主なものをあげて説明致しますよう議会の委員会が四委員会

に縮小されました

これは今度の地方自治法の一部改正により

当市では四つ以内しか委員会をおけないことになりましたので、新しく委員会条例を制定し今までの七委員会（総務、財政、建設、農林、商工、文教、社会）を次の四委員会に委員の改選もありました。

この委員会制度について一寸説明しますと近年行政が非常に専門化したので、議会の議員も、それ／＼の専門に分れて、議案の下調べや、事件や陳情などを調査したりする必要が強くなりました。

それならば、今度の法律の改正で何故、委員会を小さくしたのかと申しますと、わずか三十人の議員では七つの委員会を設けておけば、おのずから一人の議員が二つの委員会を兼ねもちしなくてはならぬようになり、これでは、委員会制度を設けたねら (二面へ)

いにあわないうことになるために、職員は一個の常任委員となるものとする、というものにしたわけであり、もう一つのねらいは、経費を少くするためであります。

### さて新しい

## 委員会と委員は

### ◆総務委員会 八名

委員長 田中 興兵衛  
副委員長 藤山 庄八郎  
委員 大坪内 齊次郎  
長谷川 直次郎  
福田 義雄  
武内 康枝

### ◆建設委員会 七名

委員長 水上 喜平  
副委員長 山内 雄造  
委員 山内 雄造  
山内 雄造  
山内 雄造  
山内 雄造  
山内 雄造

### ◆産業経済委員会 七名

委員長 山内 雄造  
副委員長 山内 雄造  
委員 山内 雄造  
山内 雄造  
山内 雄造  
山内 雄造  
山内 雄造

### ◆教育民生委員会 八名

委員長 島田 善五郎  
副委員長 中村 健五郎  
委員 中村 健五郎  
中村 健五郎  
中村 健五郎  
中村 健五郎  
中村 健五郎

かくして、新しい委員会を通じて市民のために、その代表者である議員は活動されることになりました。なおこれらの委員の任期は条例によつて二年であります。

## 八つの支所が整備され 八つの出張所にきりかえられました

この議案（勝山市役所出張所設置条例）は議会でも相当かつぱつな意見がかわされました。すなわち、人員を減らし、取扱事務の簡便をせましくし、出張所にしてしまふことは、経費の節約、事務の簡素化

には結構なことですが、果して市民に不便をかけることはないだろうか。……というところが論議の中心でした。これに對して、

市長は市民の皆さんには、なるだけ不便をかけるないように、精々努力したいと思つています。

しかしこのように行政事務を簡素化し、経費をなるべく節約していくことは國家の方針でもありますので市民の皆さんもこの点よく御理解下さつて、御えられるところは御辛抱願います。市としては、ある程度、さげられない市民に対する不便を少しでも補うために、いさぐとはまいるまいが、この数年のうちに市から助成金を出して電話をつけられるように努力したいと考えています

## 新しい市教育委員が 任命されました

十月一日から実施される地方教育行政の組織及び運営に関する法律は前の教育委員会法とは、大體次の点が改められたわけであり、

このまゝに、この法律がつくられた目的を一口でいいますと今までの教育行政は、本當にわが國の実情にあつていないようであつたので、これをあらうようにしたのであります。

### さて改められた点の

第一は、今までの公選制（市の有権者の選挙によるもの）から任命制（市長が議会の同意を得て任命するもの）にしたこと。  
こんどの教育委員はこの任命制により決まりました。

また教育長（教育委員会の推薦に属する事務を取扱う人）はこのようにして任命された委員の中から教育長を選んで、それから県の教育委員会の承認を得、市の教育委員会が任命するようになったこと。これによつて次の委員のうちの中野治さんが教育長になりました。

第二には、一般地方行政と教育行政との間の調整をはかつたこと、つまり、財産の取得権や契約を結ぶ権利、支出命令などは市長の権限に移されました。

第三には、市立学校の教員の人事については、県の教育委員会を取扱うようになったこと、

では、新しく任命された教育委員の横顔を議席順に御紹介しましょう。

### ◆白木サツ 前（六〇才） 農林

東京精華高女卒、以市婦人會副幹事協賛會長、任期一年、芳野

### ◆池田茂夫 前（四五才） 醫師

日本医科大学卒醫學博士、元、勝山保健所長、任期三年、下後

### ◆津田彦左衛門 前（五五才） 農林

大野中学中退、現北郷小中学校PTA會長、任期四年、北郷

### ◆道原泰雄 前（四二才） 農林

茨城高等商業卒、元村岡教養員長、任期二年、村岡

### ◆田中深治 新（五六） 農林

福井師範卒、元勝山高女校長、市社会教育課長、任期四年、蓮羽

## 予算の追加 更正がありました

この予算がどのような方面に使われるのかと申しますと、その主なものは市役所費では、職員の人員整理のため五百三十六万三千円内貳百万は起債として認められる消防施設の充実はかかるため、ジーブ一台、小型消防ポンプ七台、雲よけ機械一台の買入、貯水池三ヶ所をつくるため。

- ◆消防費として三百十五万三千九百円
- ◆土木費として七百一十一万六千五百円
- ◆これは、七月水害復旧（鹿谷、村岡、荒土等の道路四ヶ所、川三十ヶ所）のため四百五十万六千円、
- ◆都市排水事業として（大聖寺川近く）三百万円
- ◆林道の修繕費として二百九十九万九千五百円
- ◆大用水の事業費として四百五十万円
- ◆大用水はかき災災復旧費として二百七十万五千円
- ◆また大切な皆さんの子供さんを預かる保育所を建てるため二百五十五万円

それから皆さんも御存じのように、松文工場に集団赤痢が発生のため思いがけない支出があり、その上ごみ運搬の三輪車一台を買入れたため衛生費として百十万七千九百円

◆学校建設費として北谷の小原分校を新築するため三百万円、荒土の細野分校増築のため七十万円、

なお、これに必要な収入は、國、県交付金の増額、税の自然増収などによつて賄われることになつていきます。

市内の中小企業の金のやりくりを助け、市の産業をおこすために、億千万円を信用金庫に預け、中小企業者に六ヶ月以内で貸付けすることにしました。

この預金は信用金庫で昨年と大休開し、要領で運用されるわけですが、念の

### 去年 国定公園に指定された

## 霊境の地「平泉寺」を訪ねて

平泉寺は今から二百四十年前、泰澄大師がこの地に築られ、日夜持念して天女(白山妙理大権現)を感得せられ、この天女出現の御手洗池を平泉寺と称し、現に境内にあるのが平泉寺の寺号や地名の起りと云われています。

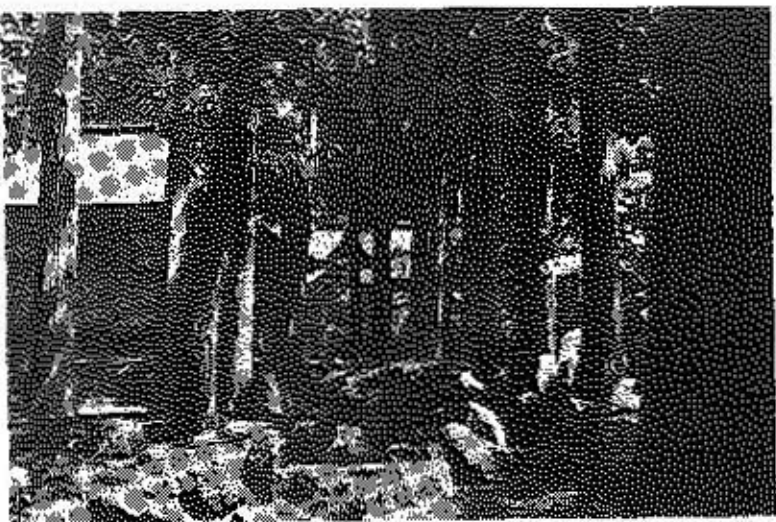
元龜、天正の頃は四十八社三十六堂六千坊が峰々谷々に満ちわたつて、その勢甚だ盛んなるものがあつたそうですが、弘治年間本社の前の大石垣築造に当り波多野玉泉坊(八千石)と鳥飛井室光院(五千石)の二人の兄弟の間に石の大きさを競つたことから内訌を生じ、因幡守義景を殺した景徳を誅つたため、道徒の一門として天正二年遂に一向一揆の憤慨するところとなつて七、八万の強襲にあい、火を放たれ一山一時に灰塵に帰し、天台の別院とまで云われた名刹も壊滅に瀕したと伝えられています。

然し時の任職願海僧正は美濃の枯槁力原に遷座し、天正十一年帰山して一庵を結び平泉寺再興に努力したもので、幕末頃は將軍家より朱印三〇〇石、福井藩より三〇石の知行を受け、常に國家国主の安体を祈願し三百年間平泉寺隆盛の基を築いたと云われています。かくて明治維新の際神仏分離の勅命が発せられたので、当時の再興二十一世住職義尊僧正は廃仏棄釈し復讐して神勸し、白山神社と改称するに至つたのです。明治九年再興二十世住職敬正の平泉寺再興勸告を発見し、区民相謀つて平泉寺再興をはかり、明治三十八年再興の許可を得て再興に乗出し、白山神社参道に面し境内二、五〇〇坪、開山堂(昭和二十五年八月焼焼)庫裡、山球六六〇余町歩を保有し目下本堂の再建を計画中です。白山神社境内は蒼古雄大な菩提樹林から始まり、ここからは昭和三十年に

ために申しますと、輸出関係の産業や主要産業を営んでいる者及び生活に必要な物をつくつたり又は販売している人の運転資金として活用されるものがあります。融資は一件につき十万円以内で、利息は日歩二銭八厘で期間は六ヶ月です。なお融資に關しての手続方法などは一割信用金庫にまかしてありますから、そこでおたずね下さい。

白山神社用定公園の領域に指定されました。

幾百年をも経たと思われる杉並木の参道は如何にも神域の支開口にふさわしく、またその参道にしきつめられた石燈は当時の僧侶たちが九頭竜川原から手送りして築いたと伝えられ、そのかみの偉大な勞苦にたゞ驚きの眼をみはるのみです。精進坂を登れば境内一帯は老杉天を遮り、青苔地をおおい白ら仏殿に入るの想いがします。一の鳥居をすぎると社務所(旧玄成



院本坊)があり、その横が有名な旧玄成院庭園です。数年前訪れた一米人が社務所の卓越した建築技術に驚き入つた由、旧玄成院庭園の莊重典雅な庭づくりや宝物殿と共にその昔を偲ぶに十分です。二の鳥居には白山三所大権現の額がかけられてあり、すぐ拜殿に続いています。

現在の拜殿は昔の拜殿の中央部に建てられ、幕末の建造ですが全体として何となく天平の古建築の風流があるのも面白く感じられます。内部には鞍馬の雄大な額が多くかけられ、外面には弓道や砲術の奉納額が沢山掲げられています。

現在の礎石によつて計ると、中世の大拜殿は全国にも比類なき宏大なものであつたらしく、今はその礎石と瓦瓦とを存するのみです。この辺り一帯は厚いじゆうたん様のな青苔でおおわれており、そのまろ麗感が五体にみなぎる思いが致します。拜殿の後は前述の様な由緒のある大石垣があり、その上が本社です。拜殿の南方、小高い丘の上には泰澄大師を調る開山社が建てられています。

本社の南には楠正成公の塙に当る惠秀律師という僧侶がおつて、正成公戦死の事を夢見て直ちに使用してその生死を尋ね、正しく戦死したのを知り墓を建て、その菩提を弔つたと云われ、又文治二年には源義経が北国落の節に弁慶等同勢十三人と共に平泉寺に立寄り一泊したと伝えられる観音堂があり、現在は平泉寺郵便局の隣にあります。外に安産の守護神として名高い三宮を始め末社が沢山あります。今は青苔におおわれた神苑に立ち、或は湧泉清く湛えて千市の影を宿すあたり、靜かに臉を閉じれば今も当時の榮華を偲めし様子が眼裏を去來する様な気がします。

夕日正に樹間に没せんとするとき、先人たちの偉大なる史実に感歎しつつ、靈氣身をおもう平泉寺を後に致します。なお、この平泉寺に詣でる観光客は毎日絶え間なく、その数は年間延一万人を数えるといわれています。

## ゴミ運びの買いました

勝山市特別清掃地区における塵芥の収集は従来手引荷車により行なわれて居りましたが、新市発足と共に清掃地域が拡められる一面、市街地における人口は増加し、従来の方法では到底収集し得ない実情にありましたが、このたび勝山婦人会の好意により、十四万五千五百円の寄附がありましたので、之に市費を加え五十三万円で塵芥収集自動車三輪車を購入いたしました。本車は一般家庭の塵芥の収集の外に本市清掃条例に示されている一時的多量塵芥の委託処分を有料手引荷車一台分百円で代わりますから御利用下さい。

# ④ 土地の高度利用で農家収入をうるおす

## 端境期 売込みに大成功!!

### たばこ跡作て 軽く反収 五万円余

田岡郡市としての勝山市の発展をはかるには、先づ当市の主要産業である農村の振興にあります。

一口で農村の振興と申しましたが、いざそれを、どういう方法でこれを実行していくかとなると、そんなに簡単なものではありません。これに対しては、端境期として、又普及事務所としても、いろいろの対策を練つておられますが、一番大切なことは、かんじんの農家の皆さんが、これに賛成し、実際にやつて頂かねばならないことです。感々にして百吹けど踊らずの状態になるわけですが、しかし、こゝに御紹介する一筋の農家経営について熱心な農家は、よく農務課や普及事務所の技師と共に研究し、大へんな成果を収めています。

早稲村岡園芸研究会を御紹介しましょう。

たばこの跡作に、何か収入の多い作物がないだろうか……と川原村岡園芸研究会々長らが、もう四年前から技師らと共に研究したところ、それには、葉葉の若い抑制(おそまき)キヌウリと抑制(おそまき)サヤマメの栽培がもつともよいとして作り始めました。ところが今日では、この共同研究のもとに皆が心と力を合わせて栽培のものを栽培し、これを共同で出荷、今では一日おきに、キヌウリとサヤマメ合わせて平均四十箱を福井方面へ送り、品がよいのと時運おくれの青物で珍らしいので、ひつぱりだ。

しかもキヌウリ一箱(三貫目入)が五百円から七百円、サヤマメが一箱(二貫目入)千二百円から二千円の高値地名にちなんで**三谷キヌウリ**の商標も福井ではその名も高く評価され、今後の期待は大きい。

また、やはりたばこの跡作に**冬越シカンラン**の栽培が村岡、荒土、平泉寺方面で行われ、これらの作付面積は全部で十町歩に当り千五百貫位でつまり反収大体五万円を見込んでいます。このカンランは明寒雪融けを待つて、カンランの端境期にとつと関西方面に向けて出荷、今の成育振りで、日本的に有名な岩手特産クワカサカンランをはるかに上廻る優良な生育状態で農家では、来春を待ちに待つています。

次に喜ばしいことは海拔六百米という高冷地の平泉寺上野、池ヶ原の開拓地部落では、隣接栽培もその他の野菜などの栽培も、やつてきましたがなかなかうまくいかず、経済的に困つておられるのを何んとかしてこれを切り放すよう農務課と相談、技師の指導により今年、夏の端境期に向けての**夏とりカンラン**を大町歩に栽培、約五千貫の大収穫を得てこれを福井方面へ共同出荷、貫当り五十円として二十五万円の意外の収入でホクホク。

### 最後に日本一の若猪野の越ウリを御紹介しましょう。

若猪野ではナラズケ用のウリを五反歩栽培、五千貫を収穫し貫当り四十五万円の高値で関西方面では、本場の日本一といわれたカツラウリより貫当り五町高で取引され、まさに日本一のチラづけ用のウリとして大好評というわけは、若猪野の越ウリは皮が非常に薄く柔かいのが特徴で、他の特産の一寸真似のできない美点をもっているからです。来年は一町歩、一万貫を目指すとなか／＼の願望。

このように勝山市の特産野菜園芸として、カツヤマカンラン、若猪野のウリ、三谷キヌウリなどは皆土地を高度に利用したものであり、また、生産出荷販売については共同で行なうという協同精神のしからしむるものと参えられます。つまり、もう少し具体的に申しますと、煙草で反収平均六万円も上げ更に跡作のカンランで反収平均五万円と、一反の土地を二反成いは三反に利用、若しこれを従来の農家経営のように入荷一本でいけば、精々農作で十俵、四万円、何れがよいかは説明するまでもありません。

更にわれ／＼が見逃すことのできないことは、一人丈のボロ儲けという個人的な行動をとらずに共同栽培、共同出荷という協同性があつたからこそ、こんな好成果を収められたものと思われまます。一つこれを参考にして農家の皆さん大いに奮起して頂きたいものです。いろ／＼農家経営について相談や疑問

などがありましたら、どし／＼農務課へ御出で下さい。

## 人事異動

八支所がそれ／＼出張所に変つたためこのたび、次のとおり人事異動がありました。括弧内は旧任

- ◇ 農務課
  - 庶務係長 伊藤 政治 (人専庶務係長)
  - 人事税務係長 島田勝三兵衛 (荒土支所長)
  - 指導係長 森石 治 (農務指導係長)
- ◇ 財務課
  - 農務係長 川崎 善三郎 (農務課)
  - 財務係長 玉木 次也 (総務課)
- ◇ 衛生課
  - 衛生課係長 武内 康孝 (平泉寺支所長)
- ◇ 遊園出張所長 島山武 (教育長代理)
- ◇ 平泉寺出張所長 佐々木 彰
- ◇ 荒土出張所長 水上 流 若
- ◇ 村岡出張所長 木下 伝右エ門
- ◇ 鹿谷出張所長 前川 透
- ◇ 北谷出張所長 小林 幸之
- ◇ 野向出張所長 出口 栄 助
- ◇ 北郷出張所長 民生課長兼務

## 市役所だより

- 十月一日 新教育委員会発足数人奉異勤支所を閉止して出張所を設置すク一部人事異動
- 共同基金運動開始
- 十月三日 平泉寺中学校落成式
- 十月六日 基本選挙人名簿調製開始
- 十月九日 読書週間行事打合せ
- 十月十日 県土木行政視察
- 十月十二日 県農林部長ら、保田、井天の閉用視察
- 十月十五日 市議会議員協議会
- 十月十六日 県議金委員会内視察
- 第三地区農業委員会開催
- 県下七市、市長会議於当市
- 十月十七日 県下七市産業経済課長会議於当市
- 優良乳幼児表彰
- 十月十八日 秋季狂犬病予防接種
- 十月二十日 市園芸出荷協会設立協議会
- 十月二十四日 臨時市議会
- 十月二十六日 木工業振興懇談会
- 十一月三日 第二回勝山地区体育レクリエーション大会於勝中グラウンド
- 十一月四日 第二回市内各出張所訪問レク